学校番号	320

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	（学）Retry English	2	2	Zoom English Grammar 23 Lessons (本冊・ワークブック) MY WAY English Communication I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・Retry English は、中学校で学習した英文法の基本項目一つ一つを丁寧に学習する・リトライすることで、英語に対する苦手意識をなくしていくことが目標です。ただ文法事項を覚えるだけでなく、例文を作成したり、英作文をして音読をしてみたり、学習した英文法をアウトプットできるようになりましょう。
・副教材で英文法の基本項目を学習したあとは、昨年度英語コミュニケーションⅠで使用した教科書をもう一度振り返って、その英文法が使われている本文を復習します。学習した英文法がどの文にどのように使われているのかを、本文の内容理解も深めながら確認していきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・発音、リズム、イントネーション、音声変化に慣れ、短い発話をほぼ正確に聞き取ることができる。 ・100～120wpm 程度の速さの日常生活での話題や・簡単な説明や指示を理解することができる。	・簡単な説明文を理解し、図や表から情報を得ることができる。	・日常生活での出来事について説明したり、要件を伝えたりすることができる。	・日常生活に関連した話題について、事前の準備やメモがあれば、聞き手を混乱させないように 1 分程度のスピーチをすることができる。	・身近な話題について、自分の意見を、つなぎ語やフレーズを活用したまとまりのある段落ひとつで書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解し，外国語の音声，語彙・表現，文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声，語彙・表現，文法を，４技能（聞くこと，読むこと，話すこと，書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について，情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して，場面・目的・状況等に応じて，幅広い話題について外国語を話したり書いたりして，情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて，言語やその背景にある文化を尊重し，自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Get Ready 1 「～は…です」と 「…は～します」 Get Ready 2 動詞の形	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	リスニングテスト
		話すこと	a: 文型を正確に活用する b: 文型に関する文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通してお互いのフィードバックを行い、学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 文型を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査
		書くこと	a: 文型を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査
	中間考査			
	Get Ready 2 動詞の形	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	リスニングテスト
		話すこと	a: 時制・助動詞・受動態を正確に活用する b: 時制・助動詞・受動態に関する文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通してお互いのフィードバックを行い、学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 時制・助動詞・受動態を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査
		書くこと	a: 時制・助動詞・受動態を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査
	期末考査			
2	Get Ready 3 不定詞 動名詞 分詞	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	リスニングテスト
		話すこと	a: 不定詞・動名詞・分詞を正確に活用する b: 不定詞・動名詞・分詞に関する文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通してお互いのフィードバックを行い、学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 不定詞・動名詞・分詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査
		書くこと	a: 不定詞・動名詞・分詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査
	中間考査			

	Get Ready 3 分詞 比較 Get Ready 4 関係詞	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	リスニングテスト
		話すこと	a: 分詞・比較・関係詞を正確に活用する b: 文型に関する文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通してお互いのフィードバックを行い、学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 分詞・比較・関係詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査
		書くこと	a: 分詞・比較・関係詞を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査
	期末考査			
3	Get Ready 4 関係詞 仮定法 Optional Lesson 1 接続詞 Optional Lesson 3 名詞 冠詞 代名詞	聞くこと	a: 聞き取った音と英文の意味を照合して意味のある英文を聞き取れるようにする b: ただ音を聞き取るのではなく単語や文の意味を理解しながら英語を聞く c: 教材のワークシートを活用して日常的に英語の音を繰り返し聞いて英語の音に慣れるよう努める	リスニングテスト
		話すこと	a: 関係詞・仮定法・接続詞・名詞等を正確に活用する b: 文型に関する文法知識をもとに適切な表現方法で発表を行う c: ペアワークを通してお互いのフィードバックを行い、学習に取り組むよう努める	スピーキングテスト
		読むこと	a: 関係詞・仮定法・接続詞・名詞等を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに円滑な読解のための判断ができるようにする c: 英文中のわからない単語・文法を進んで調べて理解するよう努める	定期考査
		書くこと	a: 関係詞・仮定法・接続詞・名詞等を正確に理解する b: これまでに学習した文法知識をもとに適切な英文を書く c: 他の生徒と比較検討しながらより適切な英文作りに努める	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度